

第2回	保谷第一小学校 学校運営協議会（要点記録）
日時	令和7年6月30日(月)15:30
場所	保谷第一小学校 図書室
出席者	吉村真理子委員長、児玉佑衣委員、稲澤志穂委員、福田妙子委員、中野洋子委員、古賀卓夫委員、有本唯委員、高田進委員、原之雄委員
欠席者	牛村美香委員
司会	吉村真理子委員長
委員10名中、9名の出席、学校運営協議会規則第11条第2項の規定により、会議は成立	
次第1	校長挨拶
	一学期終了まで3週間を切った。各学年遠足や社会科見学に行っている。今年度はコロナやインフルエンザの感染が少なく、学級閉鎖もない。 前回の学校運営協議会で話したように、5・6年を対象とした「認知行動療法」を実施する。不登校の原因は様々あり、一概に対応できる訳ではないが、人によって異なって生じる不安に対応できるようにしたい。ストレスに対する力は直接的な体験も必要。4年生の社会科見学中で、お昼ごはんを食べるとき小さな虫食い跡を気にしてさくらんぼを食べない子どもがいた。今の子どもたちは、繊細な部分があると感じた。少しのミスでもものすごく落ち込んだり、他の子どもの言動を気にしすぎたりする部分がある。自分に対しても、他者に対しても寛容になれなくなっている。2年生は、遠足で川にいった。ゴムボートなどで遊んだ。はじめは戸惑っていたが、始まると男女関係なく楽しそうに遊んでいた。友達との関わりの中で、たくましさを育まないといけない。 来年度以降、3年生以上の遠足の実施や、水曜日午後の時間を活用して学級遊び(文理台公園や屋上)を行うなど、行きたくなるような学校を作る工夫を考えていきたい。ただ、遠足に行くにしても、事前準備は大変で教員の負担が大きく増えていく。1学期の通知表のように、2学期の通知表も所見をなくし希望者のみ面談にするなどし、その分教員には子どもと触れ合う時間を取れるようにするなど必要だと考える。
次第2	報告事項
令和7年度学校評価計画	
研究推進 委員長	学力向上 ・主体的に学び、問題解決に挑む児童の育成 - 自分たちで課題を見つけ、問題を解決する。 - 昨年度教材開発したものを、今年度はブラッシュアップをする。 ・タブレットを活用する。 ・朝学習を中心に、基礎基本の定着を図る。
特別活動 主任	健全育成 ・学級活動に加え異学年交流を定期的に行い、社会性を育む。 ・体育の授業に加え、体育朝会や運動旬間等を通して運動習慣の形成を図る。
生活指導 主任	人権感覚の涵養 ・生活指導上困ったことだけでなく、児童の良かったところを共有し、教員間の児童の肯定的理解を深める。 ・いじめ・虐待は許さないという意識を持ち、情報の共有をする。年に3回、児童にアンケートをとっている。学期に一回以上、SOSの発信の仕方に関する指導を行う。
教務主任	保護者や地域との関係 ・学級通信やタブレット、すぐーる、学校ホームページを通して保護者への情報発信を行う。保護者に教育活動に携わってもらいより良い教育を目指す、「保一サポーター」の実施。 ・ふるさと探究学習。地域に根ざした学習を行う。昨年度も、学年の実態に応じて地域の方に協力していただいた。地域とともに学習していく。地域と連携した学習を各学期1回行う。
特別支援 教室主任	特別支援教室の充実 校内委員会(月2回)では、支援の必要な児童や支援の仕方について話し合う。生活指導夕会(週1回)では情報共有を行う。 SCによるOJTを行い、全教職員の教育相談能力を養う。 ・特別支援教室拠点校として、保護者、担任、しろうめの教員の共通理解を図る。

副校長	業務改革・働き方改革 ・校務支援システムの掲示板機能などを活用し、会議や議題を精選する。
質疑応答	
質問	地域や保護者との連携について 学級通信やタブレットを使うというのは、各担任に任せているのか。 昨年度までは、学級通信をもらい様子がわかった。今年度になってから1枚も発行されていない。子どもに「タブレットに載っている。」と言われたが、更新されていない。
校長	学級通信については、マストではなく任意。相当出している学校ではあるが、すべての担任が出すことは不可能。出せる教員、出したい教員が出している。学級通信があることで保護者に情報共有できていることは、教員に伝える。
質問	現状クラスの様子がわからない。土曜授業で初めて、様子がわかった。個人面談で話したり、連絡帳で連絡したりしたらいいのか。
校長	保護者会前は必ず授業参観をセットで行ったり、保護者会を学年ごとではなく学級ごとで行うようにしたりしている。資料を読むだけでない保護者会に変えていく。学級通信を全学級出すことは現状厳しい。
質問	差がでてしまうのは仕方がないが、同じ学年で情報量の差があるのは残念。
校長	優先順位の最上位は授業、学級経営。その次に授業公開や保護者会など。学級通信については、プラスアルファ。平等性を図るために学級通信を廃止している学校もあるが、発行したい教員もいるのでプラスアルファとして扱う。
質問	子どもたちがナイブになるのは、小学校に入ってからわかるのか、幼稚園保育園と連携しているのか。
校長	幼保小の連携ではなく、もっと全体的なこと。小さな大人ではなく、その年代で経験するべきことを経験することが大切。
質問	学校で喧嘩はしてはいけないのか。 保育園ではいい子だが、外に出た瞬間に爆発してしまう。小学生にはルールはあるのか。
回答	おそらく、一番のリアルは児童センター。学校では、大人しくしていなくてはいけないもの、家庭では保護者に褒められたい。欲求や生活を住み分けしている。児童センターや学童は、子どもたちだけの場所でガス抜きしている。ある程度喧嘩しないとわからないこともある。社会性の中で学んでいかなければいけない。子どもたちは区別して生活している。
全国学力調査	
副校長	内容を読んで、どのような学力が求められているのか理解してほしい。知識だけでなく、考えたことを表現することが求められている。HPに答え等が載っているので、見てほしい。
協議会の議事は西東京市学校運営協議会規則第11条第3項により出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによることとされている。 全員賛成で可決。学校運営方針は承認された。	
次第3	意見交換
意見	荒屋敷 こどもまつりを実施する。こどもに特化した形を目指している。起震車も来る。
意見	最近自転車の盗難が多い。戸建てでもマンションでも施錠してください。足代わりに使うので、どのような自転車でも盗られてしまう。壁で囲まれていない家では、自転車も手を伸ばせばある場所にある。施錠をしっかりしてほしい。公園に乗り捨てられていることもある。
質問	プールの授業が年10時間入れるのか。
校長	時数的には、10時間程度を予定している。
副校長	水泳指導の不足時間があれば補充する。
質問	プールの着替えはどのようにしているのか。 PTAの方が忙しい。他の人でできることはないのか。
回答	着替えは、男女で教室を分けて着替えている。カーテンも締めている。
回答	6年生は、男子は一室で。同性の教員が見守る。

意見	PTAがすべてやるのではなく、ボランティアという形で保護者の方に協力を求める。改善活動で意見だしをしていく。協力を仰ぐ、発信していく。
意見	ニュースで盗撮が問題になっている。プールも一部正門から見えてしまう。もう少し目隠しができるといい。
副校長	早急に対応する。
次第4	事務連絡
	・次回以降の日程確認 10月6日 授業参観後に実施する。
以上で第2回保谷第一小学校学校運営協議会を終了する。	